



全国学力・学習状況調査からみえてきたもの(その2)

今年度4月、3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」として、「教科に関する調査」(国・数・英)と「生徒質問紙調査」を実施しました。その集計結果からみられる本校生徒の特徴について報告します。前号での「教科に関する調査」(国・数・英)に引き続き、今回は「生徒質問紙調査」を中心に、ご報告させていただきます。今後の学習や生活に活かしてください。

【全国学力・学習状況調査「生徒質問紙調査」の結果より】

「学習や生活についてのアンケート」から見られる本校生徒の特徴

【全国平均との比較】

《全国平均よりポイントが高い項目》(◎：非常に高い、○：高い)

◎今住んでいる地域の行事に参加していますか。

○数学の勉強が好きですか、大切だと思いますか。

○読書は好きですか。

○スピーチやプレゼンテーションなどまとめた内容を英語で発表する活動や、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか。

《全国平均よりポイントが低い項目》(●：非常に低い、▲：低い)

●総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

▲困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

▲あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか 101~200冊

▲新聞を読んでいますか ほとんど、または全く読まない。

【経年的な比較】

《昨年度と同じ傾向の項目》

○読書が好きである。

○問題を最後まで解こうと努力し、無回答率は低く、調査問題の解答時間は十分だとしている。

●新聞を読んでいますか。

《昨年度は全国平均より下回っていたが今年度は上回った項目》

○今住んでいる地域の行事に参加している。

○学校の授業以外に普段2時間以上勉強している。

《昨年度は全国平均とほぼ同じだったが、今年度は下回った項目》

●将来の夢や目標を持っている。

●学級活動における学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

【本校の強み】

約9割の生徒が「人が困っているときに進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている」「友達関係に満足している」と答えており、思いやりのある生徒が多いことがうかがえます。また、「今住んでいる地域の行事に参加している」は、全国平均よりはるかに高い数値結果となり、地域に根ざし地域とともに成長させていただいている生徒の姿がうかがえます。さらに読書が好きな生徒が多い傾向がみられ、読書活動推進校としての成果もみられます。

学習面においては家庭学習の習慣が身につけていない生徒が多かったため、毎日の自宅学習の定着を目的に1年時より取り組んだ手立ての成果として、学習時間を増やそうと努力している生徒が増えていることがわかります。また、授業において意見発表や資料作成等にタブレットを使いこなす生徒が増えてきていますが、さらに情報活用能力の育成や思考力・判断力・表現力の向上に力を入れています。

【本校の弱み】

毎日、朝食を食べていない生徒が約1割おり、生活面や学習面にも影響を与えていることがわかります。また、新聞を読む生徒が少ないことから社会の情勢に興味を持つ機会や読解力を身につける機会が減っていることもうかがわれます。周りの大人に相談できないという思いをもっている生徒も一定数おり、人の役に立ちたいと考えているものの、具体的に将来の夢や目標をもつことができていることにつながっているように思われます。本年度からとして「笹っこタイム」を実施し、コミュニケーションスキルの向上や仲間づくりの推進、自己肯定感を高めることを目的とした取り組みを行っていますが、今後も継続して取り組みを充実させていきます。

【地域・家庭への協力体制及び具体的方策】

現在、郷土学習講師や、朝の読書の時間の読み聞かせ、職場体験の受け入れなどをお願いしています。今後もコミュニティースクールの方々とも協議し、地域に根ざした学校づくりを推進していきます。家庭や地域に学年通信やホームページで学校の様子を知らせながら、家庭学習や読書の推進、新聞の活用等についても家庭と連携し、子どもの確かな学力と健やかな成長を目指して保護者と教員が協働して教育を進めていきたいと考えています。そして、場合によっては専門家や関係機関とも連携し、チーム学校として対応していきたいと思えます。

【家庭学習の定着や今後について】

キャリア教育を推進し、今後も夢と志を持たせる指導に力を入れていきます。家庭学習については本校独自で採用している『Selfup Diary』を今後も活用し、学校と自宅をつなぐツールの手段として、また、家庭学習の定着のツールとして活用していきます。さらに今後は、タブレットを活用した家庭学習にもさらに力を入れていきたいと考えています。

補充学習については毎日の帰りの会前の10分間を利用し、Basic 学習として全学年5教科の復習を行っています。今後も基礎学力の定着を図るためにさらに工夫を重ね取り組んでまいります。

最後に、学校生活の中で生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価し、自己肯定感や自尊感情を高めるための指導を充実させていきたいと考えています。そして、現在行っているQU調査やアンケート調査、教育相談等をさらに充実させ、生徒の気持ちに寄り添い、「安全・安心で居心地のいい学校」をめざします。